

平成 29 年度岡崎市食育推進会議 会議録

開催日時 平成 29 年 11 月 29 日（水） 午後 2 時から午後 3 時まで
開催場所 岡崎市役所西庁舎 701 号室
出席及び欠席者 出席 10 名 欠席 8 名（委任状提出者 8 名）
事務局 柴田耕平（保健部長）、服部悟（保健所長）、
片岡泉（健康増進課長）、坂田勝彦（健康増進課副課長）、
二村和孝（健康増進課主任主査）、桑原純子（健康増進課主任主査）
忠内美保（健康増進課主事）
傍聴者 なし

会議次第

挨拶

議事

(1) 報告事項

- ア 第 2 次岡崎市食育推進計画最終評価について
- イ 市における平成 28 年度取組事業実績について

(2) 議題

- ア 第 3 次岡崎市食育推進計画重点事項について
- イ おかざき食育やろまいプロジェクトについて
- ウ 市における平成 29 年度取組事業計画について
- エ 平成 29 年度地域の魅力再発見食育推進事業について

<会議資料>

- 資料 1 第 2 次岡崎市食育推進計画最終評価
- 資料 2 第 2 次岡崎市食育推進計画における食育の取組
- 資料 3 第 3 次岡崎市食育推進計画における食育の取組
- 資料 4 平成 29 年度地域の魅力再発見食育推進事業

議事要旨

(1) 報告事項

- ア 第 2 次岡崎市食育推進計画最終評価について
- イ 市における平成 28 年度取組事業実績について
事務局から資料 1、2 で説明

[質疑・応答等]

(委員)

私立幼稚園ですが、資料の中で保育課ではいろいろな資料をとりまとめているが、私立幼稚園がないのは資料を提出していないからか、岡崎

市内のある一部の人数があればいい事の調査であるのか。協力できることであれば私立幼稚園もたくさんの食育活動をしているので報告させていただきたいという意見が園長会で話に出た。それぞれの園の独自性があるのでさまざまな意見が出てしまうかもしれないが、約5千名の園児を預かっているのだからこういうところで意見を述べさせていただけるといいと思っている。

(事務局)

資料2の食育の取組は市の関係各課の取組として記載している。私立幼稚園も取組をしていただいていると思うし、こちらも「まめ吉通信」等で情報提供、普及啓発をさせていただいている。今後も御意見があれば連絡していただきたいし、食に関する普及啓発を兼ねて出前講座等でこちらから行かせていただくので、引き続き御理解、御協力をお願いしたい。

(委員)

資料に何度か出ている「HACCP」の意味を知りたい。

(事務局)

「ハサップ」といいます。食品衛生管理のシステムのようなものを国が示しているもので、食品の安全・安心の観点からこの基準があれば食の安全・安心が守られるものとして導入されている。岡崎市においても「HACCP」を導入すれば認定をさせていただき周知を図るという制度である。

(保健所長)

「ハサップ」とはアメリカの航空宇宙局 NASA が宇宙食を作るときに衛生管理を徹底しようとして方式を定めたものである。その流れから食品について重点的にポイントを押さえて衛生管理をしていく。最終的に安全で、衛生的にできるというシステムである。食品工場や製造過程に取り入れて、安全性をチェックしながら食品の安全を届けるという方式である。作る食品に対してコースがあり、そのコース自体はやり方を認定していく方法である。食品衛生法が改定されるが「HACCP」をある程度法律の中に入れていこうという方向で動いている。食品を扱われる業者の方々が取り組んでいることである。

(2) 議題

ア 第3次岡崎市食育推進計画重点事項について

事務局から「第3次岡崎市食育推進計画」で説明

[質疑・応答等]

(委員)

「朝食を食べないことがある人」というところの朝食の中身は、朝食べれば朝食ということか。パッケージを開ければ歩いていても食べられるものもあるがそれも朝食というのか。

(事務局)

これは昨年度行ったアンケートの回答なので、ここでは判断はできないが、朝食という認識をしていれば回答に含まれている。そういったパッケージに入った簡単なものを朝食という人も、ご飯とみそ汁を朝食という人も入っている。

(議長)

第3次岡崎市食育推進計画重点事項について5項目を重点事項として取り組んでいくこととする。

イ おかざき食育やろまいプロジェクトについて

事務局から「第3次岡崎市食育推進計画」で説明

(議長)

このプロジェクトについて市民に周知を図り取組をすすめていくこととする。

ウ 市における平成29年度取組事業計画について

事務局から資料3で説明

[質疑・応答等]

(委員)

食生活改善協議会です。食文化継承クッキングという親子の料理教室を、昨年度に続き今年度も5回ということで、岡崎市との協働事業として今のところ2回開催している。12月はおせち料理であり、毎回申込多数でお断りするのが心苦しいところである。今年度は文化も伝えてほしいということで1回目は「いただきます」の言葉について、2回目は「箸の持ち方」として正しい箸の持ち方と、やってはいけない箸の使い方の話をした。今年度はあと3回行っていく。

(事務局)

食文化継承クッキングは平成28年度からの市民協働事業として平成28年度7回、平成29年度5回、食生活改善協議会の御協力をいただき行っている。料理だけでなく、文化の中で「いただきます」や「箸の持ち方」などは食育でも必要なことであるので、引き続き食文化継承ということで食に関する文化全般的にクッキングの開催をしていただいて、こちらも協力していく。

(議長)

平成 29 年度も後半に入っているが、この計画に従って取組を進めさせていただくこととする。

エ 平成 29 年度地域の魅力再発見食育推進事業について
事務局から資料 4 で説明

(議長)

地域の魅力再発見食育推進事業について進めさせていただきます。

(議長)

何か食育に関すること、それ以外でも意見等がありますか。

(委員)

内容は素晴らしいものであり進めていってほしいが、やるべきこと、欠けていることをやっていくということであると思う。これらをどう進めていくか、広めていくか、周知させるか、ここが一番の課題ではないか。例えば岡崎市では Twitter や SNS で広報課、観光協会、ルネッサンスなどが発信しているが、食育推進としても安価でできるので YouTube など料理を載せたり、Twitter で今やっているイベントを発信したりすることで、かなり周知、徹底できると思う。たぶん中学生や高校生はほとんど Twitter や Facebook、SNS を使っているの、そこへ朝ごはんはこんなもの食べたほうがいいのか、野菜はこれくらいいるというようなこと、コンビニで買っても朝食はこんなものがあるなどを載せて発信すれば、結構拡散できると思う。紙媒体、お店もいいが今あるものを取り入れていくことを第 3 次から少しでもやっていけたらどうかと個人的に思う。

(事務局)

SNS は便利なツールで幅広い人々に見ていただけるツールと思っている。今年度 8 月 30 日、31 日「野菜の日」と「味噌の日」で普及啓発ということで岡崎産のナスと味噌を東岡崎、市役所、げんき館で配布したときに岡崎市から発信するというので Twitter や Facebook でお知らせした。イベント等を含め SNS の活用等を図っていきたい。朝食のことや他にプロジェクトなどもどうやって周知していけたらいいかと今回計画を策定したので紙媒体ももちろんのこと SNS の活用した周知も必要だと考える。

(委員)

オカザえもんがナショナルブランドになったのも自社の Facebook であった。せつかく「まめ吉」もいるのでオカザえもんとともにブランド化して子供たちに見てもらえるような形にするのも手段であると考え

る。オカザえもんはスタンプもある。

(事務局)

まめ吉は以前からいるが昨年、岡崎市食育・健康キャラクターに任命された。まめ吉ももっと広く周知していきたい。

(委員)

河川敷での秋まつりで食育ボランティアとして従事したがまめ吉が出たときに小さい子が一緒に写真を撮りたがりすごく人気だったのでもっと前面に出したほうがいいと思う。

(事務局)

まめ吉はイベントなどで年に何回も出ている。回数を増やしたり、SNSの活用もあると思うので前面に出して、食育と一緒に取り組んでいきたい。

(議長)

事務局から連絡はあるか

(事務局)

この計画ですが、平成 29 年度から平成 33 年度までの計画期間となっている。平成 31 年度にはアンケート調査を実施し、中間評価を行っていく予定である。またその時には委員の皆さんには御意見をうかがうことになると思いますのでよろしくお願ひいたします。

次回の食育推進会議ですが、平成 31 年度第 3 次岡崎市食育推進計画の中間評価の年度に開催をさせていただく予定である。この食育推進会議の下部組織である専門委員会会議では取組等について幅広く意見をうかがう会議になっているので、こちらが今年度 3 月に 1 回、来年度も 2 回ほどの開催を予定している。よろしくお願ひいたします。

(議長)

本日の議事については以上です。

—閉会—